

# コミュニティ だより

市議会  
徳島市コミュニティ協議会  
徳島市幸町2丁目5番地  
〒770-8571  
TEL (088) 621-5510  
FAX (088) 621-5511

## 2019年を迎えて



徳島市長 遠藤 彰良

明けましておめでとうございます。  
新しい年を穏やかに迎えることと謹んでお喜び申し上げます。

皆さま方には、日頃よりコミュニティ活動に深いご理解と多大なるご尽力をいただき、「コミュニティだより」をお借りし、心よりお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、相次ぐ台風や集中豪雨、さらには、大阪・北海道で発生した

地域が主体となって地域の個性が生きた、持続発展可能な地域社会の形成を進めてまいります。

本市は豊かな自然環境や伝統ある歴史・文化に加え、高い知見と行動力を有する豊富な人材という、地域力に満ちております。

この地域力を生かし、それ

## 新年のご挨拶

徳島市コミュニティ連絡協議会

会長 島田 和男



明けましておめでとうございます。皆さまにとりましては、輝かしい新年をお迎えることとご推察申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、一年を通じて自然災害が格別に多い年でありました。何十年に一度しかないような

それぞれの地域に根ざしたまちづくりの実現を目指してまいりますので、皆さま方のなごり層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆さま方にとりまして実り多い幸せな年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

大きな地震だけでも、大阪北部地震と北海道胆振東部地震が相次いで発生いたしましたし、夏には記録に残るような猛暑が続き、大変暑い夏でありました。また中・四国の豪雨災害他、何度も台風が本土へ上陸し、各地に大きな被害をもたらしました。

暗いニュースが続く中で、十月早々に日本人の本庶佑氏がノーベル医学生理学賞を受賞したとの報道が流れました。日本人として二年ぶりの受賞は、国民にとって大きな

喜びと、大きな自信を与えました。

さて、今年の五月には平成時代は終わり新元号となります。徳島市コミュニティ連絡協議会は、昭和時代に発足し、平成と続き、新時代へと向かっていくこととなります。我が徳島市は、各地域にコミュニティセンターが整備され、他府県からも先進地の一つとして見学に来ていただいています。しかし、内容面においては、活動においてもマンネリ化しつつあるように思われます。また少子・高齢化が急速に進み、ボランティアの担い手がなかなか見つからない状況です。これらの問題点に対処するため、名実ともに新時代を迎える今、我が徳島市コミュニティ連絡協議会は力を合わせ、行政にも助けをいただきながら一歩ずつ前進しましょう。

最後になりましたが、徳島市コミュニティ連絡協議会会員の皆さまにとり、より良い年となるようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



# 地域貢献高齢者顕彰

平成三十年十月二十五日に  
開催された地域貢献高齢者表  
彰式において、徳島市地域貢

献高齢者顕彰制度に基づき、  
日頃から地域のコミュニティ  
活動に貢献されている方々に

対し、遠藤彰良市長から感謝  
状の贈呈が行われました。  
市長からの祝辞の後、受章  
者を代表して沖洲コミュニティ  
ティ協議会の戸井一喜氏より  
謝辞が述べられました。  
顕彰されたのは次の方々です。



地域貢献高齢者顕彰記念 平成30年10月25日

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 内町まちづくり協議会      | 近藤 吉博 |
| 新町コミュニティ協議会     | 安田 正勝 |
| 西富田コミュニティ協議会    | 村崎 弘子 |
| 東富田コミュニティ協議会    | 村瀬 久夫 |
| 昭和コミュニティ協議会     | 猪井 貞能 |
| 渭北街づくり協議会       | 日下 武  |
| 佐古コミュニティ協議会     | 安原 健夫 |
| 沖洲コミュニティ協議会     | 戸井 一喜 |
| 加茂コミュニティ協議会     | 永井 健次 |
| 八万町各種団体連絡協議会    | 河上 貞夫 |
| 八万中央コミュニティ推進協議会 | 舟越二三夫 |
| 八万コミュニティ推進協議会   | 村上 稔  |
| 勝占中部コミュニティ協議会   | 原田 博之 |
| 勝占東部コミュニティ協議会   | 田中美枝子 |
| 多良中央コミュニティ協議会   | 堀井 昭克 |
| 不動コミュニティ協議会     | 岡田 進  |
| 入田町まちづくり協議会     | 山岡 重子 |
| 上八万コミュニティ連合協議会  | 福山 繁好 |
| 上八万まちづくり協議会     | 平山 功  |
| 川内まちづくり協議会      | 藤本 幸子 |
| 川内南コミュニティ協議会    | 安藝美重子 |
| 応神町コミュニティ協議会    | 大黒 昭義 |
| 国府コミュニティ協議会     | 原田ヒロエ |

(以上行政区順)

## 代表者謝辞

沖洲コミュニティ協議会

戸井 一喜

ただいまご紹介をいただき  
ました沖洲地区の戸井でござ  
います。

本日、置市記念式典におき  
まして、地域貢献高齢者とし  
て感謝状を賜りました受章者  
を代表して一言お礼のあいさ  
つを申しあげます。

本日顕彰された皆さまは、  
それぞれの地域において長年  
にわたり、それぞれの立場で  
地域の発展に尽くした方々で  
あります。私も自分の住  
む地域がいろんな分野で発展  
していくため、それぞれの得  
意の分野でささやかではあり  
ますが、精一杯頑張ってみよ  
うと努力を続けてまいった次  
第であります。

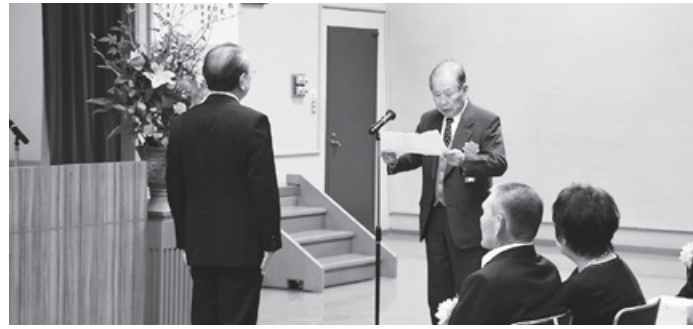
た、公民館の運営評議委員も  
務めさせていただき、主とし  
て文化面で地域の発展に協力  
してまいりました。

私も自分たちの住む地  
域がいろんな分野で発展して  
いくため、それぞれの得意の  
分野において、ささやかでは  
ありますが、精一杯努力を続  
けてまいった次第でありま  
す。

私の場合、平成十五年、  
それまでの県外における仕事  
をすべて終えて帰郷いたしま  
したので、当時の沖洲公民館  
長さんのおすすすめもあり、公  
民館主催の俳句教室の講師を  
務めることとなり、以降、現  
在に至るまで毎月一回教室を  
開き、今年の九月で百七十二  
回を数えるに至りました。ま

こうした活動が地域住民の  
絆を強くし、地域の活性化に  
つながると信じ、小さな努力  
を続けていきたいと思ってい  
ます。今回の榮譽を励みとし  
ながら、これからもそれぞれ  
の活動に取り組んでまいりた  
いと存じます。もちろんわれ  
われいずれも高齢となり、若  
い人と同じように活動するこ  
とは容易ではありませんが、  
健康の維持に留意しつつ、こ  
れまでの経験を生かし、引き  
続きそれぞれの分野の活動に  
取り組んでまいりたいと存じ  
ます。

終わりにりましたが、各  
地域のますますの発展とその



沖洲コミュニティ協議会 戸井 一喜氏

トータルとしての徳島市の発展を心から念じつつ、粗辞ではございますがお礼の言葉とさせていただきます。  
本日はまことにありがとうございます。ございました。

このたび、北井上地区コミュニティ協議会・北井上公民館・北井上地区社会福祉協議会の女性部員の有志の方々と、北井上女性会が産声をあげました。やはり、いろいろな行事をする上で女性の方々のきめ細かい気配りや団結ある行動力が必要だとの声からでした。  
昨年九月七日に開催されました「北井上地区敬老会」を主催させていただき、第一歩を踏み出しました。  
昨年は台風の当たり年といわれていた中、当日は晴天に恵まれました。参加者の皆さまは心待ちにしておられた方



北井上女性会



北井上女性会のあいさつ

もいたようで、朝早くから来館されていました。北井上地区は農村地帯のため、高齢になられても朝早くから仕事をしている方が多いため、なかなかご参加いただけなかったかと心配しましたが、たくさんの方々がお越しくださいました。  
式典は十時に開会し、粛々と進みました。徳島市長代理として保健福祉部生活福祉第二課長中川博詞様よりお祝いの言葉をいただきました。他にも地元市議会議員、北井上

式典が終わると余興が始まりました。トップバッターは、北井上女性会による「りんごの唄」に合わせた健康体操でした。心と身体がほぐれたことと思います。続いて北井上認定こども園の子どもたちによるお遊戯と歌がありました。その後、参加者と手遊びをしてふれあいました。毎年子どもたちと



健康体操

公民館長、北井上中学校生徒会長からも温かいお言葉をいただきました。



子どもたちとの交流

交流していますが、いつも一番の笑顔で楽しまれています。他にも北井上小学校の児童による歌とリコーダーの演奏や宮本舞踊教室から舞踊の披露、カラオケでは自慢の歌で大いに盛り上がりました。みんなで楽しく食事をし、久しぶりに会うお友達との会話も弾み、良い敬老会が開催でき、嬉しく思います。  
これからもまごころとおもてなしの精神を忘れず、地域の皆さま方の暖かな心で女性会を育てていただければと思います。北井上地域一丸となつてさまざまな行事を予定していきたいと思っております。  
(北井上地区コミュニティ協議会)

# 耕作放棄地の解消に向けて

## 入田町まちづくり協議会

入田町は、町内の主産業である植木や苗木、米、野菜等の耕作を行うことで、有史以来、中山間地域としての美しい景色を創出し、住みよい自然環境を奏でてまいりました。しかし、ここにかけて、高齢化や転居等により、耕作放棄地が増え続け、鳥獣や病害虫被害が多発することとなり、近隣農地に悪影響を及ぼし、耕作意欲の低下という悪循環に陥ることとなり、美しい自然環境を維持することが困難となってきました。このため、本会ではこれをこのまま放置することは耕作放棄地



草刈り奉仕の様子

が地域全体に拡大することとなり、農業の継続が懸念されるとの強い危機感から、その解決策を模索してまいりました。このたび、藁をもつかむ思いで、入田刑務所に草刈り奉仕を依頼することとしました。入田刑務所では、地域との共生の見地から快諾していただき、法務省に上申し、実現することとなりました。刑務所の被収容者による耕作放棄地での草刈り奉仕は全国でも例がないため、逃亡リスクを低減するため、監視体制の強化として刑務官へのライブカメラの配備、作業員の熱中症等の安全衛生リスクの低減等々、万全の対策を講じていただきました。

西月ノ宮地区の耕作放棄地において、草刈が実施されました。そのときの模様が、マスコミにより紹介されました。本会と徳島刑務所は、ともに地域の一員として共生することで、受刑者の矯正と円滑な社会復帰、耕作放棄地の解消という互いの課題を克服することとなりました。後日、徳島刑務所より本会に対し、矯正の機会を用意したとのことと感謝状が贈られました。

本会では、今後も町民の皆さまのご理解の上で、徳島刑務所のご協力をいただき、草刈り奉仕活動を入田町全域に拡大し、耕作放棄地の解消に向け継続して取り組み、「心も自然も豊かな入田町」を維持してまいりたいと考えています。



感謝状の贈呈

**本年もよろしく  
お願いいたします**

- 沖洲コミュニティ協議会 会長 三栖谷高照
- 津田コミュニティ協議会 会長 島田 和男
- 加茂名まちづくり協議会 会長 宮本 昌美
- 加茂コミュニティ協議会 会長 高島 稔之
- 八万町各種団体連絡協議会 会長 矢田 嘉昭
- 八万中央コミュニティ推進協議会 会長 露口 玲子
- 八万コミュニティ推進協議会 会長 岩田 唯夫
- 勝占地区コミュニティ連合会 会長 田中 稔
- 勝占中部コミュニティ協議会 会長 竹内 鋭治
- 勝占東部コミュニティ協議会 会長 高島 伸一
- 多家良地区連合協議会 会長 福村 和則
- 多家良中央コミュニティ協議会 会長 橋 榮一
- 丈六コミュニティ協議会 会長 梅本 辰雄
- 不動コミュニティ協議会 会長 大川 良文
- 入田町まちづくり協議会 会長 森 政雄
- 上八万コミュニティ連合協議会 会長 福井 利興
- 上八万まちづくり協議会 会長 阿部 増江
- 一宮下町づくり推進協議会 会長 祖川 信明
- 川内まちづくり協議会 会長 植田 和則
- 川内南コミュニティ協議会 会長 河井 宏紀
- 応神町コミュニティ協議会 会長 玉置 勇次
- 国府コミュニティ協議会 会長 藤村 俊治
- 新町コミュニティ協議会 会長 前川 佳弘
- 西富田コミュニティ協議会 会長 岩佐 重明
- 東富田コミュニティ協議会 会長 松ノ内 清
- 昭和コミュニティ協議会 会長 松岡 勤
- 渭東コミュニティ協議会 会長 中嶋 修三
- 住吉・城東地区町づくり協議会 会長 浜田 耕市
- 渭北街づくり協議会 会長 近藤 辰夫
- 佐古コミュニティ協議会 会長 吉田 紘
- 南井上コミュニティ協議会 会長 松島 孝昌
- 北井上地区コミュニティ協議会 会長 前川 俊治
- 内町まちづくり協議会 会長 宮澤 武志

(順不同)

# 子どもたちを中心とした年間行事

## 東富田コミュニティ協議会

今の子どもたちが主役となる時代が間近に迫っている中で、地域の子どもたちが育つための手助けをしなければならぬという考えから、子どもを中心とする活動に取り組んでいます。

まず、『伝統文化の継承』として、七月二十一日には子ども神輿があります。これは東富田の明神さん（大麻比古神社）の夏祭りの中で東富田幼稚園の皆さんが神輿を担いで（神輿の下には車があり、実際には引つ張って転がしております。）神社の周りを練



地域阿波踊り「ほなけんど連」

り歩いていきます。また、八月五日には「ほなけんど連」による地域阿波踊りが実施されました。本番に向ってコミュニティセンターで五日間練習を重ねて、子どもたちは大きなかけ声をかけて元気に地域の介護施設や公園、駐車場で阿波踊りを踊りました。秋には十月二十一日に勇み屋台を行います。これは、子ども神輿と同じく東富田の明神さんの秋祭りの一環で富田小学校の四年生の子どもたちが勇み屋台に乗って太鼓のたたき手となり、富田中学校の子どもたちが担ぎ手となって神社周辺を練り歩きます。太鼓のたたき手となる子どもたちは、本番に向けて、コミュニティセンターで十回ほど練習を行い、緊張しながらも東富田の町を「やっさーこーら」などの伝統の掛け声をかけながら太鼓をたたきました。

次に『礼儀・作法を学ぶ』として七月二十七日には二軒屋町の臨濟宗である観潮院

で親子座禅教室を実施します。ご住職から座禅のことや日頃生活する上で大切にしなければならぬことのお話をいただいた後、座禅を組み心を落ち着かせ、ゆつくりとした時間を過ごしました。今年度の新しい試みとして、七月三十一日に料理教室を開きました。野菜ソムリエの先生方をお招きしてデコレーション寿司作りを行いました。キュウリ・ハム・エビ・卵・サケフレーク・ミニトマトを子どもたちでトッピングして個性豊かなデコレーション寿司ができました。完成後、野菜に関するクイズなどを行い、料理の楽しさと食べ物の知識を学んでいただけたと思います。八月六日には生活学校の



観潮院での親子座禅教室

皆さまのご指導のもと、裁縫教室が行われました。「ポケットティッシュのケースを作るう」のテーマで自分好みの布を選んで悪戦苦闘しながらも参加された子どもたちは作品を仕上げていき、物を作る楽しさを学んでいただけたと思います。七月二十三日からスズムシの配布を行いました。これは子どもだけではなく、希望するすべての人に配布するのですが、お盆に帰省するお孫さんにみせるために取りに来られる方、保育所や幼稚園に持って行かれる方もいます。これは、スズムシを通じてコミュニティを図ってもらうことと、生命を育てることを体験していただいております。

次に『地域交流』として、毎年子ども餅つき大会を開催しております。今年度は、二月十日に開催予定です。昨年度は、地域の保育所・幼稚園・小中学校の子どもたち百三十名と子ども引率者、学校の先生方などを合わせて二百五十名余りが参加する地域挙げての大きな行事になりました。つきたての餅をきな粉餅にしたり、大根おろしや

砂糖醤油をまぶしておなかいっぱいになるまで食べ、帰りには全員自分たちでついた餅を持ち帰りました。

このように子どもを中心とした活動を夏休みが中心ではありませんが、年間を通して子どもたちにいると体験いただける行事を行っております。ただ、昨今、毎年決まった形で行われる行事にいささか不安を覚えます。当初は必要があり、大方の賛同も得て出発して創意工夫もあったと思いますが、何年も続いている中で、変化なく昨年もやっただから今年もやろうと決めてしまっただけではないかと、行事のあり方を考えているところです。



子ども餅つき大会

# 小松海岸緑地に『ドッグラン』

川内南コミュニティ協議会



ドッグラン正面入口

犬が自由に走りまわられる「ドッグラン」で平成三十年四月に徳島市長の出席を仰ぎ、オープン式が行われました。川内町旭野の小松海岸に、

県内市町村で初めてこの施設が整備されました。

約千八百平方メートル(五百四十五坪)の松林に囲まれた敷地に、中・大型犬用エリア、千平方メートル、小型犬用エリア、七百六十平方メートルに、高さ一、五メートル程度のフェンスで囲まれています。

犬が遊べる小山や、飼い主用のベンチ、トイレ、足洗い場等が併設されています。また、ストレッチ用のうんてい、平行棒等の遊具もあり、松風の中、運動不足解消も可能です。わんちゃんにはボールを追いかけてたり、臭いを嗅ぎあつたり、犬同士のコミュニケーションも進めています。また、飼い主同士のコミュニケーション



ドッグラン内部

ンも活発に行われています。

利用者は徳島市公園緑地課で登録すれば、無料で午前九時から午後五時まで利用できます。オープンから半年後の十月の登録犬は約六百八十四匹です。

利用者の評判は良く、犬同士の噛み合いもなく、利用の決まりを守り、良好に運営できています。しかし、夏の利用時間が太陽のキラキラ照る時間帯なので、もう少し利用時間を長くしてほしいとの要望が強いです。

犬の本能、遺伝子を持っていることに多くの飼い主は何回も感じた経験があると思われ

れます。

私も柴犬を飼っておりますが、田舎の畑に放してやったとき、臭いを嗅ぎながら走りまわり、全身に喜びを表したときが思い出されます。

近年愛犬家が多く、色とりどりの着物を着せ、抱っこし、猫かわいがる飼い主も散見されますが、それが本当に犬の幸せなのか疑問に思われます。

この「ドッグラン」を利用して、犬の運動不足解消と、犬同士、飼い主同士のコミュニケーションを盛り上げて、ストレス解消していただければと思っております。

## 夏休み防災キャンプ

八万青少年育成会 福岡 香

去る七月二十一日・二十二日、八万南小学校において、八万青少年育成会と八万公民館主催の第三十五回夏休み一泊研修が開催され、四年生以上の五十七名が参加しました。例年は、園瀬川親水公園でテント設営、飯ごう炊さ

ん、木工工作などを行ってきましたが、今年度は、全国各地で地震や豪雨による災害が相次いでいることもあり、災害時子どもたちが自主的に行動することができるよう、防災キャンプを実施しました。八万自主防災会や小学校の先



ロープワーク

生、婦人会や消防団など、各種団体の皆様のご指導ご協力により、避難所での知恵を習得する充実した研修になりました。

一日目は防災センターの講師による防災のお話を聴き、南海地震のメカニズムの勉強もしました。夕食はハイゼックスで、炊き込みご飯・蒸しパン・マカロニミートソースを作りました。防災スタンプラリーでは、消火体験・段ボールベッド作り・持ち出し品選び・紙食器やマスク・スリッパ作り・段ボールトイレ作り・毛布担架作り・ロープワークを体験しました。

連日の猛暑の中、熱中症が心配されるため、体育館での一泊は中止にしましたが、二



段ボールトイレ作り

(八万中央コミュニティ推進協議会)

「地域で子どもを守る」をモットーに活動している八万青少年育成会の初めての防災キャンプでしたが、子どもたちにとって有意義な体験だったと思います。

この防災キャンプを通して、明日起こるかもしれない災害に備えて、地域住民大人も子どもも連携団結して訓練し、防災に役立つ知識を身につけておくことが大切だと感じました。

日目は予定どおり、木材買方組合の方々の指導による木工工作教室で、子どもたちの力が並びました。お昼は防災食のレトルトカレーをみんなでいただき、無事二日間の夏休み研修を終えました。

# 「加茂名はひとつ」で敬老会を実施

加茂名まちづくり協議会

会長 宮本 昌美



木工工作

平成三十年九月十七日、加茂名地区敬老会を開催致しました。参加対象者は喜寿(七十七歳)を迎えられた二千六百九十二名、そのうち記念品の受け取りに約千三百名の方に来ていただき、式典には約二百名余りの方にご出席いただきました。

また、会場は前年まで加茂名小学校の体育館をお借りしておりましたが、昨年は平年を上回る本当に暑い日が続いていたため、初めてエアコンのついている加茂名コミセンでの開催にさせていただきました。何分、当会場は体育館より手狭で、進入道路が狭いため、大変な混雑をしましたが、交通整理に加茂名消防分団、各PTAの役員の方々にお手伝い願ひ、事故もなく誘導していただきました。また、受付は駐車場ですることになり、暑い中、民生委員・婦人会の方々にお手伝いをしていただき、

## 加茂名地区敬老会



児童からの「敬老のことば」

本当にお世話になりました。いよいよ午後一時より式典が始まり、ご来賓の方々より、皆さまにご長寿と末永い健康を祝してご祝辞をいただきました。地区内の両小学校四年生の児童からは「敬老のことは」が発表されました。式典終了後にはアトラクションが始まり、加茂名保育所、加茂名南幼稚園の園児の皆さんのかわいらしい歌と踊りが披露され、大きな拍手で盛り上がり、ところで、加茂名民踊教室のお姉さん方に当加茂名地区の名所・袋井用水を讃えた「袋井音頭」を踊っていただきました。

## 祝加茂名地区敬老会



園児の歌と踊り

した。最後には、会場の皆さま全員で「ボケない小唄」「上を向いて歩こう」「ふるさと」を合唱し、大変盛り上がったところで閉会となりました。

当加茂名地区は、公民館・まちづくり協議会の運営委員は両会の委員を兼任すると規約にあり、また、社会福祉協議会・民生児童委員他の団体役員も運営委員としてご協力を願ひ、「加茂名はひとつ」の合言葉で昨年も敬老会を開催しました。

昨年十一月十一日に開催された徳島市市民防災訓練も全町一致団結して取り組みました。

シリーズ 名所・旧跡

# 勝占中部の名所・旧跡

勝占中部文化財保勝会

会長 高田 豊輝



### ☆勝占神社

旧名杉尾大明神。源義経が戦勝祈願に立ち寄ったそうです。平安時代の延喜式内社阿波国南方筆頭の勝占神社であるとして明治初年に勝占神社を本名にして郷社に指定されました。勢見山金刀比羅神社はこの境内社であったのを一六一六年藩命により西富田へ遷されたそうです。



勝占神社のふもと

なお、勝占神社の例祭は十月九日に最も近い日曜日または体育の日になっています。

### ☆落橋と勝橋

多々羅川に架かる橋で、勝占神社の下を通る旧土佐街道の橋が落橋、二〇〇メートル下流の橋が勝橋です。丈六町西高木の熊山にあった桜間城が義経に攻められ、平家方がここを通って落ち延びたので



勝占神社の祭礼

落橋といいますが、この川ができたのは室町時代頃のはず。明治中頃、寺の前橋を落橋に対し勝橋と呼ぶようになりました。

### ☆ガラススタジオあたり

江戸後期に勝占神社の祭礼場になったので、御旅と呼ばれる

でいます。明治年間に村役場が建ち、平成元年役場の跡にガラススタジオが完成、県下の名所になりました。この

広場には、地神祠・大きい石燈籠・戦死者二百七柱を祀る忠功碑・模範村長井上万吉翁の大きい頌徳碑があります。

近くの県道大松川橋は、大正十四年に完成、大型の鉄筋コンクリート橋としては日本で最古級です。

### ☆雑賀町と護国神社

一七八四年、藩士雑賀類蔵が勧農奉行になって開拓したので雑賀開と称し、論田浦の一部になりました。水神社から東北へ一八〇メートルの所に野鳥観察のログハウスがあります。

平成十五年城山にあった護国神社が遷ってきました。

### ☆大松町杉尾神社と持福寺

杉尾神社は勝占神社の分社です。持福寺には珍しい相輪塔があります。このあたりは室町時代の高田館跡の推定地です。

### ☆新土佐街道と地藏橋

江戸時代後期に法花から土佐街道のバイパスができ、多々羅川に架かる地藏橋は小松島街道の分岐点になり、人の往来で賑わったそうです。遍路の接待場にもなり、遠方の人に知られていたもので、鉄道の駅名になりました。

地藏塔と、中田町成願寺の三国伝来阿弥陀仏の道標があり、これに対抗して丈六寺鎮守秋葉大権現の鳥居が建てられ、これは昭和四十五年忌部神社の下に移されました。



大松町の杉尾神社

## 編集後記

新年おめでとうございます。新しい年の到来に、東京都は東京五輪の成功に向け一丸となっています。大阪市は万国博覧会を誘致し、日本の世界の希望を実現することに努力することになりました。

わが徳島市も音楽の文化の都として音楽堂、文化センターの建設に努めています。

今年は平成の幕を閉じ、新しい時代の幕明けの時、コミュニティだよりも新時代にそって発展していかなければならないでしょう。

徳島市長からは、地域力に根ざしたまちづくりの実現に目指し努力していこうと説かれ、コミュニティ連絡協議会会長からは先進地のコミュニティセンターとして二歩新時代への前進を呼びかけられています。

北井上、加茂名地区の地域ぐるみの嗜好と尊敬の念に満ちた敬老会。子どもを育てる多彩な活動を紹介されました。東富田、八万地区。川内南の特色ある「ドッグラン」の紹介。勝占中部の名所・旧跡は、市民の必読の名説明でしょう。

(佐藤義忠 記)